

GREEN×EXPO 2027 に向けた植栽試験で 再生リン入り肥料 の効果を検証します

横浜市では、下水汚泥からリンを回収し、肥料として活用する取組を進めており、再生リンを原料とした再生リン入り肥料の製造、試験的な利用を始めています。

このたび、この再生リン入り肥料について、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携し、同協会が実施する植栽試験内にて、再生リン入り肥料と従来の肥料を比較し、花壇の基肥としての効果を検証します。

1 再生リン及び再生リン入り肥料とは

国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）において、月島JFEアクアソリューション株式会社と共に「MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業」を実施しており、この事業により、リン酸マグネシウムアンモニウム（MAP）を再生リンとして回収しています。再生リンは大半を輸入に頼っている化学肥料原料の代替として期待されています。

さらに、JA全農かながわにおいて再生リンを原料に、作物全般に使いやすいとされる汎用性の高い8-8-8（窒素8%、リン酸8%、カリウム8%）肥料をメーカー協力のもと製造しています。今後、試験施肥を通して効果等を確認し、GREEN×EXPO 2027における積極的な活用などを視野に、市内を中心とした肥料市場への流通、利用促進につなげていきます。



下水汚泥から回収した
再生リン



再生リン入り肥料



再生リン PR ロゴマーク「はま巡リン」

2 植栽試験について

2027年3月19日から9月26日にかけて開催予定の国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に向けて、最新の植物情報の収集及び会場で想定される植物の維持管理等での適性確認を行うことを目的として、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が行うものです。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



この植栽試験の一環として、再生リン入り肥料と従来の肥料とを比較し、花壇の基肥としての効果を確認します。

3 植栽試験の実施品目とスケジュール

品目：ネペタ、ペロニカ（10月植付）
植付予定：2024年10月29日（実施済）
2025年1月、4月、6月、9月
審査予定：2025年3月、5月、7月、9月

4 その他

植栽試験は非公開で行うため、試験ほ場等への取材はご遠慮ください。



植付の様子(10月29日)

お問合せ先		
下水道河川局マネジメント推進課担当課長	西高 幸作	Tel 045-671-2940



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

